

こすど公民館報

発行所 小須戸町公民館
発行人 野良知 日野
発行日 毎月15日 印刷所 昭栄堂

交通事故を上回る犠牲者！

子供の「水難事故白書」

毎年六月に入ると、い
たましい子供(中学生以
下)の水難事故が目立っ
てふえます。
子供の水の事故は、四
季を問わず発生していま



すが、とりわけ六月や八
月の夏場がピークです。
例年、まず六月に幼児
の沼地や用水路での事故
が目立ち、次いで七月や
八月の夏休みに入ると、
小・中学生の海
や河川などで
事故がふえてき
ます。
この三カ月間
で年間のほぼ半
数に当たる死者
行方不明者が出
ているのです。
犠牲者の年令
別では五才以下
の幼児が五割を
占めています。
子供たちの水
の事故は、その
ほとんどが本人
はもろんのこ



ふるってご参加下さい!!

初心者テニス教室を開催

主催 小須戸分館
小須戸分館では、恒例の初心者テニス教室を左記
の要綱で行います。美容と健康にスポーツは最適で
す。初心者の方々、お気軽にご参加下さい。
日時 毎週日曜日午後一時三十分
場所 雁巻緑地(堤外地)テニスコート
その他 道具は貸しますが、スポーツのできる服装
で参加して下さい。

子供の水の事故から守っ て下さい。

◇幼児のひとり遊びは危
険です。常に目を離さな
いように。
◇家の近くに、ため池や
用水路、溝などが危険
な状態のまま放置されて
いるときは、警察に連絡
するか、所有・管理者に
申し入れて、サクヤフタ
をしてもらおう。
◇子供たちだけで水遊び
や水泳に行かせないよう
にし、必ず大人がついて
いく。
◇危険な水辺で遊んでい
る子供を見かけたときは
進んで声をかけ、安全な
場所へ送るようにさせる

老連だより

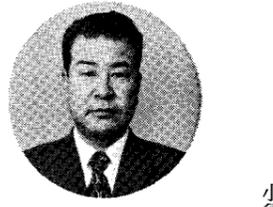
五月後半
一六日(火)センター奉仕
(町部上下組)

- 一七日(水)民踊ク
二〇日(土)陶芸ク
二二日(月)センター奉仕
(矢代田地区)
書道ク
二三日(火)全体学習(健
康と長寿講話半日)
二四日(水)生花ク
二六日(金)盆栽、草花ク
二七日(土)センター奉仕
(横水地区)
二九日(月)料理ク
六月前半
一日(木)囲碁、陶芸ク
一日(五)十和田、恐ヶ
山旅行(一〇六名)
七日(水)読書、民踊ク
九日(金)盆栽、草花ク
一〇日(土)センター奉仕
(新保・竜玄地区)
二二日(月)書道ク
二三日(火)運営委員会
二四日(水)生花ク
二五日(木)囲碁ク
一六日(金)センター奉仕
(鎌倉・天ヶ沢地区)

初夏の風物詩

樹々をわたる風に初夏を感じ
る今日この頃
砂丘に西瓜畑のビニールハウ
スが波打つ
陽射しをいっぱい浴びて夏
の出番を待つ
表は緑をまいたに太陽を秘め
て
西川の友は入道雲とせみの声
潮の香溢れる砂の丘

着任のごあいさつ



小須戸幹部派出所
今 成 稔
三月十五日付で当地の
勤務を命ぜられ、四月二
十一日着任いたしました
前任地は、山と緑と紺
碧の海を前にし、景
勝地御用流を管轄にお
く東北の地、村上警察署
の山北町でありました。
花と緑の、しかも人情
豊かなこの小須戸町での
勤務を非常に喜んでおり
ますので、どうぞよろし
くお願い致します。
私は公私の区別なく何
時も笑を忘れず、そして
声をかけあうということ
を信条にしていこうと思
っております。

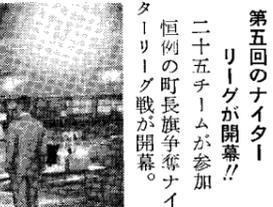
少年補導員の ご紹介

少年の非行防止や有害
環境の改善などについて
ご活躍していただく少年
補導員が次のとおり決ま
りました。(昨年同様)
身近な少年問題について
地域の皆さんのご協力を
お願い致します。
・竜玄 渡辺清次郎
電話四三三三番
・水田 木村敏三郎
電話二九一〇番
・矢代田 保科 健次
電話二九三三番
・新保 大貫 泰弘

寄附御礼

◎奉紀夫氏より
社協に三十万円
故梓貞吉町議の長男奉
紀夫氏から社会福祉事業
に、金三十万円のご寄
附がありました。
町では早速、社会福祉
協議会の資金として、ご
趣旨にそって有効に使用
させていただきます。

スポーツ二題



第五回のナイター

リーグが開幕!!
二十五チームが参加
恒例の町長旗争奪ナイ
ターリーグ戦が開幕。
去る五月七日午後七時
に中学校グラウンドへ全選
手が集合し、主催者・米
賀挨拶の後、役場チーム
の森田キャプテンが力強
い宣誓を行いました。
その後、今井教育長に
よる始球式が行われ、長
く熱い戦いが開始されま
した。
日程は八月下旬
までの間、日曜日
以外の日に熱戦が
展開されることに
なっておりますの
で皆さんもぜひご
声援下さい。
(写真)
小須戸クラブ
優勝チームに惜敗!!
去る五月六日、
柏崎市民球場で第
三十三回読売旗争

庶民生活

もらい風呂

柏 大治
なごやかなもので、今の
若い人達には信じられな
いと思います。
どんな小さい家にも大
きな水がめがあるといら
ぬのは、飲料水を溜めたか
らです。
それにしても思い出す
ことは、「川田前医」が
水道が完備したころ、謙
訪問風呂屋へ、はやばや
と風呂に行ったところ、
それより早く入っている
のが現町議砂井氏の親で
とても熱いお湯です。
そこへ医者？が来て、
「ひととはだ、ひととはだ」
と言いつつ、まさきにあ
がって逃げだしたのが印
象でした。(町議砂井氏
に大変失礼)
(三) 食生活
今頃笑われると思いま
すが、朝雑水、市井にす
ずこ、たらのこ、牛乳は
病人くらいで、一般は
飲んでいません。すずこ
飲は高級品になりました
が、

今年とりますと、ゴボ

華厳式野球大会の県大 会が行われました。

去る五月七日午後七時
に中学校グラウンドへ全選
手が集合し、主催者・米
賀挨拶の後、役場チーム
の森田キャプテンが力強
い宣誓を行いました。
その後、今井教育長に
よる始球式が行われ、長
く熱い戦いが開始されま
した。
日程は八月下旬
までの間、日曜日
以外の日に熱戦が
展開されることに
なっておりますの
で皆さんもぜひご
声援下さい。
(写真)
小須戸クラブ
優勝チームに惜敗!!
去る五月六日、
柏崎市民球場で第
三十三回読売旗争

私は戦国時代の食べも
のも知っていますが、特
に天保時代の食べものは
神龍先生が書いています
が、哀れなものでした。
二十一日も水を飲んで
生きた人もあつたり、黄
金を積んで死んだ人もあ
りました。
又、しん具などは薬を
たたき、どこの大家でも
土間があつたもので、そ
こへ薬を入れて寝ると地
上の発する熱気を調和し
て、良く眠るといわれた
もので、綿などは、幕末
頃には使用しておりませ
ん。
一汁二菜などという時
代ですから、普通は戸は
なく、ゴザを戸のかわり
に使用しましたが、新津
組・小須戸組産業開発
(慶応四年)などの時代
の波に乗って文化が進み
ました。

